

様式第2号（第9条関係）

会 議 録

会議の名称	令和7年度第1回ふじみ野市公民館運営審議会 及び令和7年度第2回ふじみ野市社会教育委員会議（合同開催）			
開催日時	令和7年7月29日（火） 開会時刻 午前 9時30分 閉会時刻 午前11時00分			
開催場所	上福岡西公民館 地下ホール			
出席した者の 氏名 （公民館運営 審議会委員14人中10人 出席） （社会教育委員15人中8人出席）	役職名	氏名	役職名	氏名
	公民館運営審議会委員 （委員長）	松 舘 千 枝	社会教育委員	宮 下 宏 樹
	公民館運営審議会委員 （副委員長）	田 中 義 則	社会教育委員	関 口 正 人
	公民館運営審議会委員	村 越 澄 子	社会教育委員	長谷川 節 子
	公民館運営審議会委員	栗 田 大 悟	社会教育委員	小 澤 真 樹
	公民館運営審議会委員	山 崎 進 弘	事務局（上福岡西公民館長）	松 原 秀 洋
	公民館運営審議会委員	戸 波 節 子	事務局（〃 事業係長）	松 島 弘 泰
	公民館運営審議会委員	中 里 美 子	事務局（〃 庶務係主任）	有 山 俊 夫
	公民館運営審議会委員	坂 本 光 枝	事務局（〃 事業係主任）	星 野 純 子
	公民館運営審議会委員 兼社会教育委員	山 口 ゆかり	事務局（社会教育課長）	木 村 裕 之
	公民館運営審議会委員	高 橋 直 美	事務局（〃 副課長 兼文化財保護係主査）	鍋 島 直 久
	社会教育委員 （議 長）	齊 藤 宏	事務局（〃 社会教育係長）	笠 掛 裕 子
	社会教育委員	千 葉 信	事務局（〃 社会教育係主任）	近 藤 彩 香
	社会教育委員	石 川 健 一		
会議の議題	（1）審議事項 ①令和7年度ふじみ野市立公民館事業進捗状況について ②公民館運営審議会について ③社会教育委員会議常設専門委員会について （2）意見交換 （3）その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由				

傍聴人の数	3 人	
発言の内容	別紙「発言の要旨」のとおり	
会議資料	別添のとおり	
事務局	教育部 社会教育課	
議事の確定	確定年月日	令和 7 年 9 月 3 0 日
	記名押印	役職名 公民館運営審議会 会 長 松 舘 千 枝 ㊟ 社会教育委員会議 議 長 齊 藤 宏 ㊟

別紙

発言者	発言の要旨
事務局	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出席者 公民館運営審議会 10 名（欠席者 4 名）、社会教育委員会 8 名（欠席者 7 名）で会議成立の報告 ・傍聴者 3 名の報告
事務局 (木村課長)	<p>2 合同会議趣旨説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上福岡西公民館が本年 9 月をもって閉館となること、同時に公民館運営審議会も終了となることを念頭に本日の合同会議を開催。 ・令和 7 年 3 月開催の公民館運営審議会にて、社会教育委員会 8 名の答申を受けた対応について報告したが、本年 5 月、答申の趣旨にかなう規則の改正を行い、社会教育委員会 8 名の中に常設の専門委員会を設置する事が決定した。 ・常設専門委員会ではこれまでの公民館運営審議会でも議論していた公民館事業について引き継ぎ、企画の段階からかわっていただく組織として設置する。 <p>専門委員会は、公民館運営審議会に代わる組織であるため、その他の部分、例えば文化財関係などについてはご審議いただくことを想定していない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の合同会議は、公民館運営審議会、社会教育委員会 8 名の委員同士で情報交換や意見交換を行い、本市の公民館という施設に捉われることなく、公民館事業を含めた社会教育を推進していくとの目標達成のため開催するものである。これまでの公民館事業の経験や、今後の社会教育の発展などについてご発言いただければありがたい。
事務局	質疑応答（質疑なし）
松館委員長	3 公民館運営審議会委員長あいさつ
齊藤議長	4 社会教育委員会 8 名議長あいさつ
事務局	配付資料確認
事務局	<p>5 委員紹介</p> <p>資料 1・2 に基づき紹介</p>
事務局	6 職員紹介
事務局 (松島係長) (松原館長)	<p>7 議事（1）令和 7 年度ふじみ野市立公民館事業進捗状況について</p> <p>①公民館事業について、資料 3 に基づき説明</p> <p>②庶務について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上福岡西公民館本館については、各種定期点検及び定期点検以外の不具合について順次補修を実施。ただし、老朽化に伴い、一部空調の効き具合が悪い等の状況はご承知おきいただきたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年9月28日廃止後の事務所については、ふじみ野市役所第2庁舎3階会議室へ10月上旬に移転の予定。移転後も公民館利用者が職員と連絡を取りやすいよう、電話番号は引き継がれるよう調整中。 ・分室についても定期点検を順次実施しており、不具合等はなし。本館廃止後、分室の所管は上福岡西公民館から外れ、協働推進課への移管を予定。
松館委員長	質疑応答（質疑なし）
事務局 （松原館長）	議事（2）公民館運営審議会について 資料4に基づき説明
松館委員長	質疑応答（質疑なし）
事務局 （笠掛係長）	議事（3）社会教育委員会常設専門委員会について 資料5に基づき説明
齊藤議長	質疑応答（質疑なし）
	8 意見交換
松館委員長	私自身、公民館では絵画クラブで楽しみながら、学び、成長できた。そういった良い面は今後も繋げていってほしい。
田中副委員長	公民館事業に参加する機会があり、公民館というものを知った。公民館は地域密着型で、地域の人々が集まり、学んでいくというのが本来の姿であると感じている。新たな文化施設でも公民館機能を引き継ぐと聞いていたが、従来の公民館利用者からは使いづらくなったりと聞いている。時代とともに公民館の必要性も変わってきているのかもしれないが、公民館祭りもなくなってしまうたり、運動サークルの活動場所がなくなってしまうと分散して活動していたり、そのような現状を寂しく思っている。
村越委員	公民館の皆様には地域学校協働活動の連携として、プログラミング授業のボランティアを活用させていただいた。今年度からは書写や書初めの授業、音楽会に向けてサークルさんにお世話になる予定である。今後とも学校と公民館の連携を大切にしたい。
栗田委員	中学生になると日々部活動に励む生徒が多く、部活動を引退した生徒が学習のために地域の図書館や公民館を訪れることが多く見受けられる。昨今部活動の地域展開が進められており、公民館での青少年育成事業等に中学生が参加する機会があればいいと思う。
山崎委員	旧上福岡公民館の利用者懇談会の代表を務めていた。現在の文化施設は貸館のみ

	で、利用者同士のつながりを深める機会がなくなっているように感じている。
戸波委員	懇親会や、バス研修、大掃除など役員の仕事も含め楽しくやっていた。これから新しい文化施設でそういった行事がなくなるのは寂しい思いである。人が集って活動するのが公民館、血の通っていない施設にはなってほしくないと思う。今後もそういった行事は続けてほしいというのが願いである。
中里委員	昭和 30 年代以降公民館が建ち活動の場ができた。時代とともに館がなくなっていく一抹の寂しさを感じる。
坂本委員	西公民館が開館した当初から利用している。この審議会は公民館を存続させるためのものかと思い出席していた。今の文化施設は私たちの思いとは違ったものとなっている。今後この会議を引き継ぎ、意見をどのくらい反映できるのか心配に思う。意見を反映し、いい会議にしてもらいたい。
山口委員	子どもを出産し、公民館事業に参加する機会があり、市や公民館との繋がるきっかけができた。公民館は地域の人たちが少しずつつくりあげ、何世代もつながっているイメージがある。公民館ではいろんなイベントがあり、これがなくなると利用者の楽しみがなくなってしまうのではないかな。そうならないようにアイデアを考えていきたい。
高橋委員	高齢化が進み、近所の会館にも足が遠のき、外に出る機会がなくなっている状況がある。そういった中で大きな施設があると少しでも外に出るきっかけになるのではないかな。
齊藤議長	公民館運営審議会の皆さんが一緒になって公民館を大切につくってきたというお話をいただいた。自分は旧大井中央公民館の近所に住んでおり、サークル活動をしていただけではないが壁にサークル紹介が貼ってあったりして自分の近いものを感じていた。今のステラ・ウェストにはそれが無くなり、イベントのチラシがあるばかり。今の文化施設の形がベストではないと思う。そういったいいものは残していきたいと思う。
千葉委員	戦後、自分が小学生の頃、母が地域の方と新しい料理を作ったりして、地域を明るく発展させる活動をしていたなと思いだし、それが公民館活動の原点だなと思った。ふじみ野市の公民館はなくなるが、ふじみ野市のスタイルで、家庭的で楽しいものにもできるのではないかな。私自身は資料館友の会から選出されているが資料館もなくなる。ふじみ野市の社会教育活動は、地域の課題を解決するものとしてあるのでメンバー、組織も考えていきたいと思う。
石川委員	自分の思う公民館は戦後、生活が豊かになるように地域自らつくり上げてきたものだと思う。公民館の役割、なぜ公民館があったのか、ふじみ野市のスタイルを場所が変わってもどうしたら繋いでいけるのか、地域の方々がコミュニティをつくっ

	ていけるのか考えていきたい。
宮下委員	子どもたちが公民館で様々な体験やサークル活動を見学させてもらい、それを楽しそうに新聞にまとめたりして交流をさせてもらっている。コロナ禍の間、学校ではこのような体験や人との関りを極力避けた。やっとまた交流ができるようになり、人との繋がり大切さを改めて感じている。今後もそこを大切に話し合いができればと思う。
関口委員	高校は生徒が他地域からも来るため地域とのかかわりが希薄になっている。機会を創出してもらい生徒の自己肯定力を上げてもらいたい。所沢市では長期休業中に行われる小中学生や小さなお子さん向けのワークショップに文化部へ参加要請があり参加することがあった。今後は地域の行事等の活動にも積極的に参加させていただき、そこで活動する地域の方々と交流もしていきたい。
長谷川委員	以前は公民館運営審議会の委員で、当時公民館が廃止となった経緯を見ている。やり直すことはできないが、公民館をなくしてほしくなかったという思いで今日までやってきた。子どもや自分自身も公民館の活動に参加してきて、公民館運営審議会の皆さんと同じ気持ちであるが、これから新しくつくり上げていくという気持ちに切り替えていけるようになった。先ほど事務局より説明があったように、この後の専門委員会にも公民館運営審議会の皆さんに参加してもらい、これまで公民館をつくってきたのと同じように、また新しくつくっていけたらと思う。
小澤委員	子どもと旧大井中央公民館をよく利用しており、子ども同士、親同士で仲良くなり地域のコミュニティづくりにつながった経験がある。また、旧大井中央公民館では、何もないときにも子どもたちが集まって遊んでいる風景があったが、ステラ・ウェストになってからは中高生が学習スペースとして使用していることが多く見受けられる。それはそれで有難いのだが、小さい子の居場所という意味ではそういったスペースはなくなってしまったと感じている。そういったこともあり、個人的な活動として赤土原会館で月に1回子どもの集まれる場所として活動しているが、地域課題の解決ということも引き続き考えていきたい。地域コーディネーターとしても活動しており、学校からの要望でステラ・ウェストを見学したいと話したが、民間企業であるため地域に根差しているようには感じられなかった。市民にとってより良いふじみ野スタイルの確立のためにも公民館運営審議会には積極的に専門委員会に入ってもらいたい。
事務局 (松原館長)	<p>9 その他</p> <p>(1) ふじみ野市人権教育推進協議会総会について報告(松館委員長より)</p> <p>(2) 第2回ふじみ野市公民館運営審議会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年9月28日(日)午後1時より開催 ・この会議をもって当審議会の終了に伴い、教育長より感謝状の贈呈を予定
事務局	(1) 第3回ふじみ野市社会教育委員会について

<p>(笠掛係長)</p> <p>田中副委員長</p>	<p>・当初の予定を変更し、9月中に開催の予定</p> <p>10 閉会</p>
-----------------------------	--